



時
言

第二回賞美章贈呈

我等美術新報同人は、茲に大正三年の劈頭に於て、我美術新報賞美章第二回贈呈の事を發表するの光榮を有す。

我等曩に美術新報賞美章なるものを創定し、大正二年の初に於て第一回贈呈の式を擧ぐるや、斯界有識者の盛んなる賛同を受け、特に其選定に就ても、幸に其當を得たりとの公評を聞き、新に隠れたる一藝術家を江湖に紹介し得たり。我等私に此企の空しからずして、多少の裨益を斯界に致すを得たるを喜ぶ。

(1) 爾來一星霜、賞美章贈呈に就て、適當なる選定を爲し、斯界の爲に微効を致さんの念は、常に我等の念頭に在り、多くの期待と慎重なる注意を以て、此一年間に於て公表せられたる作品を觀たり

き。唯憾むらくは、此一年間に於て、我等の期待は

酬むられざりき、我等は豫期に反して、賞美章贈呈の數を減ずるの已むを得ざるに至れり。そは當初は毎年一個の賞美章を、全般の美術及美術工藝の作品を通じて我等の選定したる第一點者に贈呈すべき規定なりしが、昨年より、日本畫、洋畫、彫刻、建築及美術工藝の五部門に分ちて、各一點宛選定することに改めたるも、不幸にして各科に對して、普ねく我等の最尊重する賞美章を贈呈すること能はざりしは、遺憾に堪へざるなり。然れども我等は強て我等の鑑賞と趣味とを僞らんよりは、寧ろ嚴正に、我等の良心に服從して、公明なる態度を持する事に決定せり。

大正二年度に於て、我等の選定したるは洋畫に於て石井柏亭氏の「並藏」、建築に於て岡田信一郎氏の大阪市公會堂建築圖案之れなり。

石井氏の「並藏」は、其情趣の饒かにして、技巧岡田信一郎君近影



石井柏亭君近影



の輕妙なる、作者の感興畫面に溢れて、常に乾燥無味に流れ易き街景をして斯く快く、斯く親しみ深く描き成したるは、我等の敬服するところなり。「N氏の家庭」、「滯船」並に氏の滯歐諸作も亦我等をして氏に賞美章を贈るに至らしめたる間接の理由なり。

岡田氏の大阪市公會堂建築圖案は、近時勃興しつつある洋風建築並に其圖案の中に於て、我等は特に優秀なるものと認む。其莊麗なる外觀、調和を得たる様式、其性質に適當したる表現、固より其型式は範を泰西に取れるも作家の創意の中に渾然たる統一を得て、藝術的趣致の豊かなるは、特に賞揚すべし。

其他日本畫、彫刻に至つては、特に傑出せる作品を見ず、我等は進んで我賞美章を捧ぐる程の嘆賞を覺えたるものなく、美術工藝は一の候補者を擧げ得たるも未だ我等同人全部の同感を惹くに至らず、更に望を將來に囑する事となせり。

本年の藝術界

新年の初に方り、茲に本年の藝術界を豫想し、聊か吾人の希望を述べんと欲す。序ながら昨年の重要事件を回顧するは、事件の關聯あるに因りてなり。

本年の藝術界に於て、最も江湖の注目を惹くべき事件は、大正博覽會なるべきが、其美術及美術工藝部に關して、何等かの新施設ありや、何等かの新方針ありや、未だ之を知らず。藝術家の之に對する注意、態度も未だ甚だ明かならず、思ふに當局の勧誘未だ到らざるありて、藝術家の熱心未だ深からざるにあらずや。それに就ても審査員の選囑の速に發表せらるゝを要するは勿論にして、其選囑の如何に依りて、藝術家の態度初めて明かなるべし。而して其成敗は主として審査員の當否如何に係るを以て、徒らに在來の慣例に拘泥せず、老朽を淘汰し、新進を擧げ、最も適任者を精選し、以て藝術界に新活氣を喚起する様ありたきものなり、若し然らずして唯々在來の舊慣に之れ據らしめば、大正新時代を代表するの意義は没却せられ、徒らにお祭騒の愚を演じて止むことゝなるべし、希くは當局者の大に意を用ゐて此企をして意義あり効果ある美舉たらしめんことを。

本年の文展は、或は京都にて開設せらるべしと云ひ、或は然らずと云ひて、未だ定かならざるが、若し藝術の中心にして、作家と評家の大多數を有する東京を閉却し、年々の成績を此地に發表する

ことを爲さざらんか、其影響は輕からざるべし。吾人は文展の地方出張を、地方開發の上より、必要にして且有益なりと信するも、其本據は之を東京に置き、年々必ず一度は之を東京に開くを至當なりと思惟す。

文展に關しては、昨年來の宿題たる洋書部二科併設問題を、當局者は如何に解決せんとするか、吾人は洋書部審査員淘汰の必要を認め、又多少新舊隔離の兆を看取せざるにあらざるも、文展が單なる見本陳列所にあらざる限り、二科併設の形式を愚かなりと觀る、そは方今の如く日々新傾向を生じつゝある時勢に於て、此形式を採用せば、年を逐ふて三科四科併設の煩に堪へざるべければなり。況んや二科併設運動者の中にありても、既に幾多異分子の雜居するをや、主張の不徹底なるは訝かし。吾人は此運動の動機に就ては幾分の同情を有せざるにあらざるも、其形式、手段には全然反對の意を表明せざるを得ず。文展當局が果して如何の解決を試んとするかを知らずと雖ども、徒らに願望逡巡することなく、確乎たる斷案を下さんことを希望す。

昨年初めて開催したる農展は、其趣意の能く時宜に適したるに拘らず、鑑別審査の方針は甚だ其當を得ざりし觀ありき。由來官公設の獎勵の方針は、其影響するところ甚だ尠なりとせず、農展の如きは、宜しく美術工藝の生命たる趣味の醇雅と作家の創意を重んずることを先とし、徒らに新奇を衒らひ、輕佻なる模倣に走ることを警めざる

べからず。然らずんば、折角の美舉も却て害毒を流すに至らん。改善を希望する所以なり。

國民美術協會が昨秋大阪に開きたる第一回展覽會は、私設事業としての成績は意外に好良なりしが如きも、其出品は玉石混淆甚だしかりしとの評あり。相當の資格ある作家の集團たる同展覽會の如きは、假令鑑別なしと雖ども、作家の自重と、同展覽會の品位を保つの自衛とより、各自大に出品を精選するに至らんを希望せざるを得ず。

小展覽會の續々として起りしは、近年の傾向なりしが、昨年に入りて、一層激増の勢を示せり、是れ一面に美術家の激増を意味し、生存上の必要に促されたる現象とも觀るべし。唯是等小展覽會の多數が、拙劣なる出品を臆面なく羅列するは、惡き流行なり、内容の改善こそ望ましかれ。小展覽會場の續々開設せらるゝも亦之に伴隨したる現象なりき、漸次好適なる會場の新設せられんことを待つ。

新歸朝者の多かりしことも、昨年の一現象と見るべきも、是等新歸朝者の我藝苑に對する影響の度は、比年漸次減少しつゝあり、雜誌書籍に依りて、歐洲の新傾向の絶えず傳播せられつゝあればなるべし。今年又た幾多の新歸朝者を迎ふべきが、何等の刺戟、感化を與ふるに至るか否かは豫め測り難し。フュザン會の分裂、閉鎖は案外迅速なりき、其中一二注目すべき作家なきにあられども、尙ほ未知數と見るべきが如し。

終に臨んで藝術界本年の多幸を祈る。(犀水)